

2018年9月14日
学校法人関西大学財務局

株式会社商船三井が発行するグリーンボンドへの投資について

学校法人関西大学は、このたび、株式会社商船三井が発行するグリーンボンドへの投資を行いましたのでお知らせいたします。

グリーンボンドとは環境に配慮した事業に用途を限定した債券で、欧州を中心に約60ヶ国、500以上の金融機関が参加する国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）が、グリーンボンド市場の透明性向上と情報公開を目指すガイドライン（グリーンボンド原則：Green Bond Principles）を作成、公表しています。

本債券は、同社が掲げる「商船三井グループ環境ビジョン2030」のもと、バラスト水処理装置、SOx（硫黄酸化物）スクラバー、LNG燃料船、LNG燃料供給船、新型PBCF、ウインドチャレンジャー計画などのグリーンプロジェクトへの資金に充当され、大気及び海洋汚染の防止や海洋生物の多様性保護などに貢献することが期待されます。なお、本グリーンボンド発行に際しては、国際的に著名なESG認証機関であるフランスのヴィジオ・アイリス（Vigeo Eiris）社から前記ガイドライン「グリーンボンド原則2017」に合致する旨の認証を受けています。

本法人は、適切なリスク管理の下、今後もグリーンボンドをはじめとするESG投資を継続し、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めて参ります。

【ご参考】

株式会社商船三井ホームページ

<http://www.mol.co.jp/pr/2018/18063.html>